

北陸農政局事前評価技術検討会（第 2 回） 議事概要

- 1 日 時：令和 5 年 6 月 3 0 日（金）13:30～16:00
- 2 場 所：（公財）石川県文教会館 401・402 大会議室
（委員 3 名、信濃川水系土地改良調査管理事務所は Web による出席）
- 3 対象地区：新津郷排水地区
- 4 委 員：上澤 聖子 一般社団法人 朝日町観光協会 (Web)
根岸 睦人 新潟大学 准教授 (Web)
浜野 剛 (株)北國新聞社 編集局統括デスク長
松本 恵子 みらい(株) マネージャー (Web)
森 丈久 石川県立大学 教授
(五十音順)

5 議 事：

北陸農政局事前評価技術検討会（第 2 回）を開催し、令和 6 年度事業着手予定地区である国営かんがい排水事業「新津郷排水」地区について、第 1 回技術検討会における指摘への回答及び補足説明を行った。

また、技術検討会としての意見について、取りまとめを行った。

（委 員） 第 1 回の質疑に係る追加的な質問であるが、総費用を算出する際の、評価期間における再整備費の中身について補足的な説明をいただきたい。例えばオーバーホールのような大きな修繕は含まれているのか。

（農政局） （再整備費は通常、評価期間内で耐用年数が尽きた施設の再建設費用を指すが、第 1 回技術検討会質問の回答のとおり、今回の整備対象の 2 機場については、事業計画の中で施設長寿命化計画を策定し、予防保全費で整理を行っているので、）当該地区の効果算定においてオーバーホールは再整備費に含めて計上している。

（委 員） 前回質問の回答で「維持管理費は直近 5 か年の維持管理費の実績を基に設定する」旨説明を受けたが、それとは別にプラスオーバーホールという理解で良いか。

（農政局） 整備対象の 2 機場について、オーバーホールのような大きな修繕については総費用に計上している。

(委 員) オーバーホールを除いた経常的な修繕費は、維持管理費節減効果に計上しているということか。

(農政局) そのとおりである。

(委 員) 了解した。

6 技術検討会の意見

本地区では、昭和 47 年から平成元年にかけて国営かんがい排水事業として排水機場等を造成したことにより、湛水被害の解消や用水の安定供給が図られ、水稻を中心に、大豆、野菜等を組み合わせた農業経営が展開されている。しかし、事業完了後 30 年以上が経過して排水機場の老朽化が進行し、施設の維持管理に多大な費用と労力を要している。また、排水機場を構成する施設の中には必要な耐震性を有していないものがあり、大規模地震が発生した場合、本地域の排水を担う排水機場の運転停止により、地域に甚大な被害を及ぼすおそれがある。

本事業は、老朽化が進行している大秋排水機場及び覚路津排水機場について、施設の老朽化対策と耐震化対策を一体的に行うことにより、排水機能の維持や施設の維持管理負担の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資するものであり、その必要性・緊急性は明らかである。

事業の実施に際しては、排水機能を維持しながら施設の改修を行うものであることから、適切な工程計画を策定したうえで円滑に工事を進められたい。また、事業開始後も継続的にコスト縮減や生態系・景観等の保全に努めるとともに、事業完了後の施設の適切な維持管理を図られたい。

以上